

# 社会科学習指導案

指導者 教諭 松井 勇之

- 1 日 時 平成27年10月1日(木) 5校時
- 2 学年・学級 1年B組(男子14人 女子16人 計30人)
- 3 単元名 アジア州—急速に進む成長と変化—

## 4 本単元を指導するにあたって

本単元では、世界の諸地域の学習のスタートであるアジア州について学ぶ。

中学校学習指導要領解説社会編の地理的分野2(1)ウには「世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる。」とある。

このことから、日本と経済や生活とのつながりが深いアジア州について、その地域的特色や課題を多面的・多角的に考察していく。

本学級は、しっかり落ち着いて授業に取り組むことができる生徒が多い。一方、授業についていくのが容易でない生徒もいる。生徒の興味を引き出すために、発問を工夫しながら、授業の中でしっかり考察させる時間を作っていきたい。

アジア州について、製品など自分たちとの生活とのかかわりに関心をもたせたい。又、経済成長に関心をもたせ、主体的に学習に取り組む意欲を育んでいきたい。

## 5 単元の目標

- アジア州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地図帳を活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。
- アジア州の地域的特色を理解するために、「経済の成長」に関する学習テーマを設定し、意欲的に追及させる。

## 6 単元の評価規準

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 資料活用 of 技能	エ 社会的事象についての知識・理解
①日常みかけるアジア製品などから、アジア州と自分たちの生活とのかかわりに関心をもとうとしている。 ②アジア州の自然環境、産業、生活・文化などの特色を考察する中で、特に経済成長に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	①アジア州の経済が成長してきた理由を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。	①資料からアジア州の地域的特色について、有用な情報を適切に選び、活用することができる。	①アジア州について、自然環境と、都市化が急速に進む様子を考察し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解している。 ②アジア州の「経済の成長」を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。

## 7 本単元に関わる基礎・基本の定着

### (1) 本単元に必要な基礎・基本

- アジア州の気候，地形の特色，地名を理解している。
- アジア州の「経済の成長」を基に地域的特色を理解している。

### (2) 定着のための方策

- 小テスト：2回に分け実施する。
- 家庭学習プリント：学んだことの定着をはかる。

## 8 本単元を通して伸ばしたい資質・能力

※塩町中学校区では，小中9年間で身に付けさせたい9つの能力を定めています。

塩町中学校区9能力				
① 情報活用能力 (調べてまとめる力)	○	④判断力 (自分で決める力)	○	⑦健康・体力 (元気にやりきる力)
② 発見力 (見つける力)		⑤表現力 (伝える力)	○	⑧人間関係形成能力 (人とかかわる力)
③ 思考力 (考える力)	◎	⑥将来設計能力 (なりたい自分を描く力)		⑨生活力 (学んだ事を生かす力)

◎「思考力」・・・アジア州の地域的特色と課題を多面的・多角的に考察させていきたい。

## 9 指導及び評価の計画とパフォーマンス課題：(全5時間)

次	学習内容 (時数)	評 価				
		関	表	技	知	評価規準
1	○アジアの自然環境，人口の特色を知る。 ・地図帳を使い，白地図に自然環境を整理していく。 ・分布図などの資料から，人口の特色を考察する。 (1)		○	○		ウ① (白地図) イ① (活動の様子)
2	○アジアの文化，産業の基礎的・基本的な知識を身に付ける。 ・産業別人口と製品の生産量に占める割合の帯グラフから， アジアの工業化の様子を読み取る。 ○小テスト (1)	○			○	ア① (ワークシート) エ① 小テスト
3	○BRICSの一角を担う，中国とインドの経済成長の特色 を資料から考察する。 ・中国とインドの急速な経済成長を資料から読み取る。 ・中国とインドの急速な経済成長による格差の拡大などの課 題について理解し，その対応策について考える。 <u>本時 (1)</u>				○	イ① (ワークシート)  ○ イ① (ワークシート)
4	○東南アジアの特色を知る。 ・東南アジアの産業を考察する。 ・都市と農村の変化の実態を考察する。 (1)	○		○		ア② (活動の様子) ウ① (ワークシート)

5	○西アジア・中央アジアの特色を知る。 ・分布図などから、アジアの多様性について考察する。 ○小テスト (1)	○	○	○	○	イ① (ワークシート) エ② 小テスト					
	<p style="text-align: center;"><b>パフォーマンス課題</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;"><b>「アジアの新工場建設に向け、提案書をつくろう！」</b></p> <p>あなたは(株)マツダに勤めています。会社では新工場を中国かインドどちらかに建設する予定です。新工場プロジェクトのリーダーに任命されたあなたは、1週間後に社長の前で新工場建設国をどちらにするか提案しなければなりません。</p> <p>会社の方針としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①建設後50年はその国で自動車生産を行う</li> <li>②部品の10%は日本から輸出する</li> <li>③最新の自動運転技術の開発をその国で行う</li> <li>④生産した製品の7割はその国で販売する</li> <li>⑤残りの3割を近隣の国で販売する</li> </ul> <p>です。中国とインド、どちらに建設する方が会社の利益につながるでしょうか。どちらか一方を選び、その理由と、選ばなかった国の選ばなかった理由もあげて社長あての提案書を完成させてください。</p> </div> <p style="text-align: center;"><b>ルーブリック</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">A (素晴らしい)</td> <td>アジアの地理的關係、人口問題、中国とインドの經濟發展の特徴を踏まえ、それぞれ複数の事例を上げて、提案できる。</td> </tr> <tr> <td>B (良い)</td> <td>アジアの地理的關係、人口問題、中国とインドの經濟發展の特徴を踏まえ、提案ができる。</td> </tr> <tr> <td>C (努力が必要)</td> <td>Bに至らない。</td> </tr> </table>						A (素晴らしい)	アジアの地理的關係、人口問題、中国とインドの經濟發展の特徴を踏まえ、それぞれ複数の事例を上げて、提案できる。	B (良い)	アジアの地理的關係、人口問題、中国とインドの經濟發展の特徴を踏まえ、提案ができる。	C (努力が必要)
A (素晴らしい)	アジアの地理的關係、人口問題、中国とインドの經濟發展の特徴を踏まえ、それぞれ複数の事例を上げて、提案できる。										
B (良い)	アジアの地理的關係、人口問題、中国とインドの經濟發展の特徴を踏まえ、提案ができる。										
C (努力が必要)	Bに至らない。										

10 本時の展開 (3/5)

(1) 本時の目標

中国とインドの經濟成長の特色を資料から考察する。

(2) 観点別評価規準

中国とインドの經濟成長の特色について、多面的・多角的に考察することができる。【イ①】

(3) 準備物

ワークシート、写真

(4) 学習の展開

	学習内容 (活動)	主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 「C」と判断される生徒への手だて (★) 指導上の留意点 (●)	評価規準 (評価方法)
導入	○世界人口の1/3以上が中国とインドに集まっている現状を理解する。	○グラフから、中国とインドの人口の増え方の違いを説明しなさい。 ☆インドが急速に伸びており、将来は中国を抜く。 ●中国の「一人っ子政策」について、考察させ、人口増加のメリットとデメリットの両方に関心をもたせるようにする。	
展開	<p>本時の目標を知る。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">中国とインドの経済成長の特色を考えよう。</div> <p>○中国の沿海部と内陸部の人口や経済に大きな格差があることを資料から読み取る。</p> <p>○インド経済が急速に成長している理由を考える。</p> <p>○中国とインドの経済成長の特色をまとめる。</p> <p>○特色について内容を交流し、両国の経済成長について思考を深める。</p>	<p>○沿海部と内陸部の写真から、同じ国でも地域間でどのような特徴があるだろうか。</p> <p>☆沿海部は発展しているが、内陸部は発展していない。</p> <p>★経済特区をつくるなど、沿海部の開発に力をいれている点を強調する。</p> <p>●沿海部の工業化の特色を考察させる。</p> <p>○BRICSの一員であり、急速に経済を拡大しているインドはどのような特徴があるだろうか。</p> <p>☆英語や数学の教育水準が高く、情報技術産業が成長している。</p> <p>★情報技術産業とインドの教育水準の高さの關係に注目させる。</p> <p>○中国とインドの経済成長の理由について、まとめてみよう。 (共通点と相違点をふまえさせる。)</p>	<p>イ① (ワークシート)</p>
まとめ	○本時で学習した内容の振り返りを行う。		